



【Location (Head Office) / 所在地 (本社)】
+SHIFT KYOBASHI 6F, Kyobashi 1-6-13,
Chuo-ku, Tokyo, Japan 104-0031
〒104-0031 東京都中央区京橋 1-6-13
+SHIFT KYOBASHI 6階

【Tel&Fax】
Tel. 03-6228-7627 Fax. 03-6228-7637

【Contacts / お問い合わせ】
Mail : info@hinodeenergy.com



ヒノデ・エナジーは国連が採択した持続可能な開発目的 (SDGs) の達成に貢献しています。

HINODE ENERGY is committed to the Sustainable Development Goals (SDGs) adopted by the United Nations.



About HINODE ENERGY

HINODE ENERGY is a solar energy development enterprise headquartered in Tokyo, Japan. A joint venture between Blueleaf Energy, a portfolio company of Macquarie's Green Investment Group which is one of the largest investment company in the world, and Univergy International, HINODE

ENERGY develops and provides high quality and cost-effective solar energy projects. HINODE ENERGY specializes in large scale projects and is currently developing an initial 200MW portfolio across Japan.

ヒノデ・エナジー* について

ヒノデ・エナジーは、東京を拠点に活動する太陽光発電所の開発事業者です。世界最大規模の投資会社のひとつであるマッコーリーが保有するグリーン・インベストメント・グループの傘下にあるブルーリーフ・エナジーとユニバージー・インターナショナルの合弁会社として設立し

たヒノデ・エナジーは、高品質かつ費用対効果の高い太陽光発電所を開発し提供しています。現在、大規模案件を中心に日本全国で200MWの開発に着手しています。

*「ヒノデ・エナジー」の正式名称は、「HINODE ENERGY 株式会社」です。



Vision

Our Vision

HINODE ENERGY started its activity in 2021 with a solid and experienced Personnel in project development in Japan since 2012.

HINODE ENERGY's capabilities and competencies allow to originate greenfield projects and consolidate them in the different phases of development and take them to the operation phase. HINODE ENERGY's goal is to be a benchmark company in the Japanese renewable energy sector, in volume and quality, developing photovoltaic projects of maximum technical efficiency and high

profitability, thus ensuring returns to its shareholders and society, through positive social and environmental impact of its activity. HINODE ENERGY is a technologically agnostic company capable of implementing the best solution adapted to each project. Focused on developing totally "bankable" projects, the financial aspect is a main ingredient in our projects that, together with the technical aspect, makes our projects provide maximized returns.

私たちのビジョン

ヒノデ・エナジーは2021年に事業を開始しました。構成メンバーは2012年から日本国内の太陽光発電事業の開発に携わっており、経験と知識に豊富なメンバーです。これまでの知見を活かし、プロジェクトの立案から開発完了までを可能にします。

ヒノデ・エナジーの目標は日本の再生可能エネルギー分野における模範企業へと成長し、最新の技術を活用し採算性の高い太陽光発電プロジェクトを開発することです。

また、社会的および環境的影響を考慮して開発を行うことでシェアホルダーと社会への利益を確保します。

私たちは、技術的側面に捕われることなく各プロジェクトの特性に合わせて最適なソリューションを採用します。

最も大切な要素である採算性においては、「融資適格性」という点に焦点を当て、技術面と合わせて費用対効果の高いプロジェクトの開発を行っています。

Mission

Our Mission

HINODE ENERGY is involved in the entire life cycle of each project: selection of locations, development engineering, obtaining permits, relationship with all stakeholders in the project, and so on. We make sure to work with all the agents involved in the

project from the beginning. Leveraging our expertise on project development in different countries, HINODE ENERGY will lead projects to its operation by undertaking every phase of development.

私たちのミッション

弊社は技術面での開発に始まり、許認可の取得やプロジェクトに関わる方々の関係構築など、各プロジェクトの開発業務の流れ全体に携わります。開発の初期段階から関係者の皆様と連携をとりながら開発を進めてまいります。

今まで培ってきた様々な国と地域の開発要件に関する幅広い専門性を活かし、弊社はプロジェクトが「着工」までに至るすべての段階において様々な業務を引き受け、プロジェクトを実現に導いていきます。

Our Business

We work complying with all the laws and regulations required for the project.

Development

- ・ Acquisitions of project land (from investigation to contract, and registration)
- ・ Consultation, application and obtain contracts with utility companies
- ・ Application and obtain Facility ID from the Ministry of Economy, Trade and Industry
- ・ Consultation and negotiation with the local governments, permitting applications, and organizing informative session to residents

EPC Consultation

(engineering, procurement, construction)

- ・ Ordering and procurement of materials
- ・ Consultation with utility companies and construction companies, designing
- ・ Decide construction schedule, consolidate and manage until start of construction

事業内容

プロジェクトに必要とされる全ての法令（コンプライアンス）を遵守しながら業務に邁進していきます。

開発事業

- ・ 用地の調達（調査～契約・登記）
- ・ 電力会社との協議、申請、各種契約取得
- ・ 経済産業省への申請、設備 ID 取得
- ・ 行政自治体との協議、交渉、各種許認可の取得、住民説明会の開催

EPC コンサルタント事業

(エンジニアリング・調達・建設)

- ・ 資材の発注、調達
- ・ 電力会社や工事会社との協議、設計
- ・ 工事のスケジュール決定、調整、着工までのマネジメント

Mega Solar

Mega solar is a photovoltaic power plant with a power generation scale of more than 1,000kW. The amount of power generated in one year from a 1,000kW solar power plant is equivalent to the amount of power consumed by about 300 ordinary households in one year.

In a mega solar business, it installs thousands of panels on more than 2 hectares of land, and it is mainly installed and operated by large companies. Traditionally, the introduction of mega solar has been advanced for an effective utilization of idle lands and fallow lands, but we have started the development of solar power plants on the surface of water such as lakes and reservoirs as floating mega solar.

HINODE ENERGY offers a one-stop mega solar plant developing business that can contribute to the local economy while cooperating with local governments, residents, and consultants in selecting and procuring lands that have little impact on neighboring residents and the environment, obtaining permits, and starting construction.

メガソーラー

メガソーラーとは発電規模が 1,000kW を越える太陽光発電所のことです。1,000kW のソーラー発電所を 1 年間運用した場合の発電電力量は、一般家庭約 300 世帯が 1 年間に消費する電力量に相当します。

メガソーラー事業では 2 ヘクタール以上の土地に数千枚以上のパネルを設置し、主に企業が事業として設置・運営を行います。

これまで遊休地や休耕地などの土地の有効活用のために導入が進んできましたが、弊社では、水上メガソーラーとして湖や貯水池など水面への太陽光発電所の開発も行っています。

ヒノデ・エナジーでは、近隣住民や環境への影響が少ない土地の選定と調達、許認可の取得、工事の着工までを各自治体・地域住民・コンサルタントと協力しながら地域経済に貢献できるメガソーラー事業をワンストップで開発します。

What is Solar Sharing?

Solar sharing is a type of solar power plant system combining agriculture and solar power generation by installing posts with photovoltaic panels over a farmland.

In our solar sharing, we will install a power plant system over your farmland. We will pay you a rent fee and a farming fee. Capital investment is not necessary by the farmers because we will hold and operate the solar power plant. Farmer will gain additional income from the rent and farming fee besides their farming.

HINODE ENERGY will carry all administrative processes and participate in consultation with the agricultural committee for the farmers. We will decide the crops, design panel structure and organize construction schedule by discussing with the farmer not to cause inconvenience in farming.

ソーラーシェアリングとは

ソーラーシェアリングとは農業を営みながら、農地に支柱を立てて、その上部に太陽光パネルを設置し、発電も同時に行う営農型太陽光発電所のことを示します。

私たちのソーラーシェアリング事業は弊社で発電設備を農地の上部空間に設置させて頂き、従来どおり農業を続けて頂く形となります。弊社より農地の賃貸料と耕作料をお支払いさせて頂きます。

発電設備は弊社で保有・運営を行いますので、農業従事者様側の設備投資は掛かりません。営農による収入に加えて賃料と耕作料分の安定した副収入を得ることができます。

ソーラーシェアリングに係る行政手続きは弊社が担当し、農業委員会との協議を一緒に行います。また、農業に支障が出ないように農業従事者様と相談しながら作物の選定やパネル架台の設計、施工工程を組みめます。

ソーラーシェアリングができるまで

開発候補地の確認

電力会社：事前相談を提出し、送電線の空き容量を確認
 行政機関：許認可取得が可能かの事前調査
 農業委員会：過去にソーラーシェアリングに実績があるかどうか、農地の状況を確認

地権者/耕作者へ提案・協議・意思確認

地権者・耕作者と協議し、ソーラーシェアリングでの案件に最終的な合意を頂けるか確認
 土地の広さから暫定のレイアウトを作成

接続検討申込・架台設計・作物の選定・暫定の図面作成

電力会社：接続検討申込をし、電力工事の予算を取得する
 耕作者と作物の種類を確認し、それに合う架台を設計するメーカーを探す
 架台メーカーと初期のレイアウト作成

電力会社からの回答取得

電力工事の予算を確認し、数字の調整
 お支払いする地代や耕作費を確認し、貸付証明書の締結

本申込み・許認可取得業務開始

電力会社：本契約の申込、負担金の入金
 行政機関：許認可を全部取得
 農業委員会：一時転用の取得
 耕作者と架台メーカーと施工工程の確認

施行

関係する機関に着工・工事完了を報告し必要な安全確認手続きを行う

運営開始

Q つくられた電気はどうなるのですか？

A 一般的には政府の電気固定買取制度で電気を売ります。

Q ソーラーシェアリングのメリット・デメリットは何ですか？

A **利点(メリット)：**
 ・安定した副収入(農地の賃貸料と耕作料)を得ることができる
 ・パネルの影によって作物を葉焼けや高温障害から防ぐことができる
 ・夏の農作業も影があることで比較的作業がしやすくなる
 ・冬場は霜除けの効果も期待することができる
 ・架台に防虫ネットや遮光カーテン等を取り付けることで作業の効率化が期待できる
 ・副収入があることで休耕地、耕作放棄地を再活用することができる
 ・ソーラーシェアリングの元で育ったという付加価値がつく

注意点(デメリット)：

・架台の支柱をよけて作業を行う必要がある
 ・前提として20年間継続して農業を行う必要がある
 ・毎年収穫量を農業委員会へ報告し、収穫量を前年の80%以上を維持する必要がある
 ・3年もしくは10年ごとに一時転用許可を更新する必要がある(弊社が対応)

Q 災害等で設備の破損があった場合はどうなりますか？

A 発電所ごとに保険に加入し、専門業者がすぐに駆け付け対応にあたります。

Q 作物への影響はありますか？

A 作物の成長に悪影響を及ぼさない設計をします。また、新しい作物に変更する場合はその土地とソーラーシェアリングに適したものを協議の上決定します。

Q 工事期間はどのくらいですか？

A 規模によりますが、6か月前後となります。

Q どのような収穫報告義務がありますか？

A 毎年担当の農業委員会への収穫報告義務があります。農業委員会ごとに異なりますので3者(農家様・農業委員会・弊社)で協議のうえ内容を確認します。

Q 農機具は使用できますか？

A はい、使用できます。利用する農機具(トラクター等)の大きさ・高さや幅に配慮した設計をし、問題なく営農できる最善の提案をいたします。

Q 災害時の非常電源として利用できますか？

A はい、利用できます。給電コンセントを設置することで非常時には電気を取得することができます。

Q ソーラーシェアリングで育てやすい農作物は？

A 農作物に合った遮光率であれば限定はありませんが、一般的に育てやすいと言われている農作物は以下の通りになります。

半陰性植物 例
 ・いちご ・ほうれん草 ・小松菜 ・かぶ ・春菊
 ・レタス ・アスパラガス ・パセリ ・わさび
 ・長ねぎ ・じゃがいも ・さといも ・しょうが
 陰性植物 例
 ・みつば ・せり ・クレソン ・しそ ・きのご類
 ・パセリ ・ふき ・みょうが ・にら ・ミント ・さかき

Request for Cooperation

We are looking for partners.

Landowners:

We would like to collaborate and to offer the best profitability solution for your land and properties through a trustworthy and lasting relationship.

Agricultural Association and Farmers:

If you have agricultural lands in use or abandoned, and would like to have additional income besides farming, please contact us to collaborate.

Local Companies and Partners:

We collaborate with local companies and partners to achieve additional value in our projects.

Electric Companies:

We have consultation with the electric companies to deliberate wiring design plan and security system.

Prefectures and Municipalities:

We work to meet all necessary requirements and regulations of the project development to return to the communities.

ご協力をお願い

共に開発をしてくださる方々へ

地権者の皆様：

私たちは永続的かつ信頼し合える関係を構築し、所有されている土地と不動産に最も適した収益プランをご提供いたします。

農業組合や地元農家の皆様：

耕作地もしくは耕作放棄地をお持ちの場合や、収穫に付随した収益増加をお考えの場合は、是非私たちにご相談ください。

地元の企業様と協力者の皆様：

私たちは地元のパートナー企業と連携し、プロジェクトにさらなる価値を付加してまいります。

電力会社：

プロジェクトに必要な配線計画および緊急時の安全確保の必要性において電力会社と連携し進めます。

県および地方自治体：

プロジェクト開発に必要なとされる全ての法令を遵守し、地元に戻元できる開発を行います。



Our Promises

HINODE ENERGY will create sustainable projects which give additional values to the society and provide solutions for decarbonization, contributing to the Japanese government to reach its target number by implementing renewable energy and to meet the Sustainable Development Goals set for 2030 and 2050.

私たちのお約束

ヒノデ・エナジーは社会に付加価値を与える持続可能なプロジェクトを創出し、脱炭素化に向けた解決策を提供することで、日本政府が2030年と2050年に向けて設定したSDGs実現に向けた再生可能エネルギー導入目標値の達成に貢献します。